

## 令和 4 年度 第 1 回 学校運営協議会記録

		学校名	弘戸小学校
開催日時	5月10日(火) 18時00分～19時00分		
出席者	市教委：鈴木雅彦教育長 清水琢主幹 会 長：鈴木誠孝 委 員：小松二千六 戸部正行 海道利夫 畠山喜美 仲塚鈴香 伊藤睦子 小松貴典 校 長：一関隆則 教頭：長谷川礼 教務主任：加藤宏		
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長あいさつ</li> <li>2 市教委から任命状の交付とアンケート結果の説明</li> <li>3 校長あいさつ</li> <li>4 学校運営の方針と重点目標について(別紙)</li> <li>5 協議               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度の組織と主な取り組みについて(別紙)</li> <li>(2) 役員選出 会長 鈴木誠孝氏 副会長 海道利夫氏</li> <li>(3) 例年の学校支援について(別紙)</li> </ol> </li> <li>6 情報交換               <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室のもちつきは子どもたちの参加はもちろんだが、たくさんの人に見てもらいたい。よの多くの人手が必要なので今年も各方面から協力をお願いしたい。</li> <li>・久しぶりにもちつきをして自分も楽しめた。できればもっといい臼を用意してほしい。</li> <li>・弘戸小の「対外的なあいさつが弱い」こと等に関しては保育園でも意識して取り組みたい。</li> <li>・菜園活動や餅つきは家庭でなかなかできないことなので学校や地域で体験させたい。</li> <li>・生まれたときから動画に接し、動画から情報を得ている子どもたちにいかに読書のよさを伝えていくのか。</li> <li>・学校では読み聞かせを通して本への興味を高めている。</li> <li>・映像のよさと活字のよさの双方を伝えていくようにする。活字のよさを伝えるには仕掛けがもっと必要だ。</li> <li>・公民館としては今後も読書活動の推進とPRをし、利用しやすい図書館整備をしていきたい。</li> <li>・統合に対する不安に対するケアも必要だと思う。学校や地域でどのように取り組んでいったらよいだろうか。</li> <li>・あいさつは基本的なことなので学校で取組を続けてほしい。</li> <li>・地区の偉人である渡部斧松のことを学校は教えているのだろうか。昔はよくやっていた。若い親には知らない人もいる。なまはげ行事も弘戸ではなくなってしまいそうだ。地域のよさを知ることがふるさとを愛する子どもを育てることになる。</li> <li>・学校・地域にあるいろいろな組織をつないでいくことはできないか。それぞれが単独にやっていくのでは効果も期待できないところがある。</li> <li>・菜園活動の諸準備は順調に進んでいる。例年の協力に感謝している。</li> </ul> </li> <li>5 新会長あいさつ               <p>重責だが学校と地域のために力を尽くしていきたいのでみなさんの協力をお願いしたい。</p> </li> </ol>		